

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

嶮山小通信

6月号

ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

横浜市立嶮山小学校

TEL:902-7161,7162

FAX: 904-4254

令和 4年 5月 31日

校長 河合 智樹

水泳学習を安全に始めるために

副校長 鎌田 忠裕

初夏の日ざしが日増しに感じられるようになり、さわやかな季節となりました。梅雨前線が西から近づき、関東地方の梅雨入りも間近となっています。

本校では、今年度も感染防止と安全指導を重視して、水泳学習に取り組んでまいります。6月20日にプール開きが行われます。小学校の水泳学習のねらいは、水遊びや泳ぐ楽しさを体験させるとともに、水遊びや水泳運動の安全に関する心得を身に付けさせることです。

○低学年では、水遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、水慣れを通して不安感を取り除き、水の心地よさを味わうことからはじめ、水の中を移動すること、もぐる・浮くことなどの基本的な動きを身に付けるようにし、中学年の水泳学習につなげていくことが求められる。

○中学年では、水泳運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、け伸びや初歩的な泳ぎ、もぐる・浮くことなどの基本的な動きを身に付けるようにし、高学年の水泳運動につなげていくことが求められる。

○高学年では、水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、手と足の動かし方や呼吸動作などの基本的な技能を身に付けるようにし、中学校の水泳学習につなげていくことが求められる。

(「小学校学習指導要領解説 体育編」)

小学校6年間で水遊びから水慣れの運動、水泳運動から中学校へとつながる泳法や技能の指導計画となっています。

水泳指導で最も注意していくことが事故防止です。水泳学習を安全に行うことができるように、水泳学習開始前にプールの清掃、循環機の点検、教職員の研修を行っています。水泳学習期間中、学校では毎日の気温と水温の計測、残留塩素濃度の管理等、プール施設の安全管理の徹底を図っています。水泳学習は子どもたちの健康状態の把握が大切となります。日々の健康管理、持ち物の確認とともに「水泳学習健康観察カード」の記入漏れがないよう、よろしくお願いいたします。今年度も横浜サクラスイミングスクールのコーチが来校し、各学年1回指導していただけることになりました。水泳学習の期間は短いですが、一人一人が目標をもって、水に慣れ親しむことや泳ぐ楽しさを味わってほしいです。

【令和4年度 本校の水泳学習の方向性について(令和4年5月31日現在)】

「令和4年度の水泳授業の取り扱いについて」、市教委育委員会より「各学校において、丁寧に健康観察や健康診断を行い、家庭や児童生徒との健康面についての共通理解を図った上で、学校の実態や状況に応じて授業を実施してください。」と通知がありました。それを踏まえて、本校では、今年度の水泳学習を健康や安全に留意して、次のように実施いたします。

◎毎日の健康観察表の確認、健康観察により、児童の健康状態を把握したうえで実施します。

◎プール水の残留塩素濃度の管理を適切に行います。(濃度が確認できるまでは入水不可)

◎飛沫感染と接触感染の予防を徹底するために

・プール及びプールサイドで、児童の間隔を1~2m程度保つため学級単位で行います。

・指導者は、担任1名+職員3名の計4名の体制で行います。

・マスクを外す場面では、他の児童との間隔をとり、会話はしないようにします。

◎見学者について

他の児童との距離の確保が難しいため、プールサイドでの見学はしないで教室で学習します。